

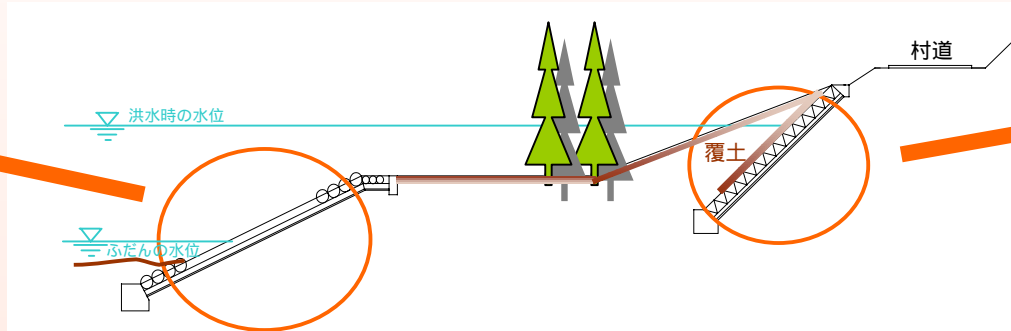


## 小渋川の大河原で護岸工事をしています

寒い冬も終りを迎え、植物が目覚ます頃となってきました。現在、大河原地区では、土砂災害対策として、護岸工事をを行っています。当工事では、自然的な景観を大切にするという考えから、現場内に生えている立木を支障のない範囲で極力残すこととしました。



**巨石張**  
 60cm程の巨石を積みながら、裏側にコンクリートを充填します。ゆるやかな勾配ですので、川に楽に降りられます。



**ブロック張**  
 コンクリートブロックを積みながら裏側にコンクリートを充填します。表面を現地土砂でゆるやかに覆います。

### 立木の種類

#### カツラ(カツラ科)

樹高は25m～30m、胸高直径は50～80cmで、時に2mにもなる。葉に特徴があり、広卵円形またはほぼ円形に近い形をしている。花は4～5月ごろに咲く。北海道や本州中部山岳地帯に多く分布する。日本固有の樹種で新緑、秋の紅葉ともに美しい。

#### ドロヤナギ(ヤナギ科)

樹高は20m～30m、胸高直径は60～80cmで、時に1.5mにもなる。葉は楕円形で裏側に白みを帯び、光沢がある。本州の中部山岳地帯に多く分布し、花は5月ごろに咲く。



現地に生えている立木を極力残すようにしました。



みなさまの御理解、御協力を得まして、今月末には工事が完成する予定です。今後も気を緩めず十分な安全対策を実施していきますが、お気付きの点がありましたら遠慮なく御連絡下さい。

株式会社 三六組  
 現場代理人 佐藤 健二  
 電話 0265-39-1002

## もうすぐ春ですね。春といえば・・・桜！

もうすぐ桜の咲く時期がやってきます。今回は大鹿桜について、大鹿村さくらの会会長の小野貞次さんに取材し、お話を聞きました。現在、大鹿村の大西公園には約3,000本もの桜の木があり、毎年3万人近くの花見客が訪れるそうです。しかし、その桜を植えて開花させるまでには大変な苦勞がありました。

大鹿村36災害による犠牲者の供養、また村の再建を思い、大西台地へ桜の植樹がはじまりました。大西山が大崩壊し、その崩れた岩や土砂の上に植えたため、初めのうちは水もちが悪く、枯れては植えの繰返しだったそうです。そこで小野さんが研究を重ね、苗木を寒中の1月25日ごろ、雪をかき分け、ガラ地を掘って植栽する方法をとりました。その結果、水もちがよく根付くようになったのです。その後は手入れを入念に行い、徐々に本数も増やして現在の見事な桜となりました。

小野さんより「当時を思うと苦勞の連続だったが、本当にやってよかった…」という言葉をいただき、印象的でした。

小野さんやさくらの会の皆さんの活動により達成された今日の大鹿桜。今年はその歴史を思い起こしゆったりと堪能したいですね。

### 大西公園



小野 貞次 さん

日本さくらの会評議員  
 大鹿村さくらの会会長



満開の大西公園

#### 大西公園の主な桜

| 品 種 名  | 本 数   | 開 花 時 期    |
|--------|-------|------------|
| 寒桜     | 約 5   | 2月上旬       |
| 十月桜    | 約 10  | 3月中旬・10月上旬 |
| 片殿桜    | 約 20  | 4月上旬       |
| 紅豊桜    | 約 30  | 4月上旬       |
| 黒原桜    | 約 40  | 4月上旬       |
| ソメイ吉野桜 | 約 830 | 4月中旬       |
| しだれ桜   | 約 470 | 4月中旬       |
| 山桜     | 約 380 | 4月中旬       |
| 富士桜    | 約 370 | 4月中旬       |
| 八重桜    | 約 420 | 4月下旬       |
| 八重しだれ桜 | 約 60  | 4月下旬       |
| 八重奈良桜  | 約 30  | 4月下旬       |
| 八重紅桜   | 約 20  | 4月下旬       |

多くの品種が植えられておりますので、4月いっぱい楽しめます。

資 料: さくら守たちの詩より  
 発行者: 大鹿村役場